

授業科目 機能看護学特論 I	科目概要・形式 2 単位 30 時間	配当年次 1 年 前期
科目責任者	大関信子	
担当者	上泉和子、鄭佳紅、角濱春美、木村恵美子、福井幸子、大関信子	
1. 科目のねらい・目標 様々な対象のニーズに対応する看護の特質および看護の専門機能に対する理解を深め、その関連理論や概念について探求する。		
2. 授業計画・内容 【上泉和子・鄭佳紅】 質の高い看護ケアを提供することをめざし、看護職が所属するヘルスケア関連組織について、組織論・組織行動論を基盤に、現状と照らし合わせながら看護管理の在り方を検討する。 【角濱春美】 看護実践・看護技術の根拠となる理論の生成と研究での実証の方法について理解するために、理論と実践との関係について論文をもとにクリティークを行う。更に、看護実践の基盤となりうる研究とは何かを考察するために、研究のデザインを理解するとともに、批判的吟味をし、看護技術の生成や実証のための研究方法について理解を深める。 【木村恵美子】 全人的な癒しの看護アプローチとしてのホリスティックナーシングの理論、関連する教育と研究を概観し、ホリスティックなケアリングプロセスを学ぶ。 【福井幸子】 臨床で発生する問題を多角的に検討し、国内外のガイドラインにある理論的根拠等から問題解決方法を探求する。 【大関信子】 ウイメンズヘルスの基礎概念となるリプロダクティブヘルス・ライツを理解し、女性を取りまく問題を抽出する。その対応策を国際規約や諸外国の制度の基盤となる理論や概念の理解を深めながら考察する。		
3. 教科書、参考書 各教員がテキストを指定するか、資料を配布する。		
4. 成績評価方法 小論文で評価する。		
5. 受講要件 看護師の資格を有すること。		
6. 社会人学生に対する配慮 講義の日時は担当教員と相談して決めることができるように配慮する。		
7. その他 担当教員に事前に連絡を取り、課題等の指示を受けること。		